

第 32 期 第 1 回 理事会 議事録

日時：2021 年 3 月 10 日（水）20:00-22:10

場所：Zoom（オンライン会議）

出席者（50 音順、敬称略）：浅海、江口、楠本、久保、坂本、佐藤、中谷、西、樋上、深井、藤野、本田、増田、守田、山下、山瀧、山本、吉積、清水（オブザーバー）、大和（オブザーバー）、荒武

欠席者（50 音順、敬称略）：荒木、藤野

1. 会長挨拶（西）

- ・大学開学 40 周年記念事業募金として、産推研から合計 200 万円学生支援を行った。用途について、学生課へ確認する予定である。
- ・32 回全国大会は 2020 年 10 月 10 日（土）産業医科大学においてオンライン開催、尾辻新学長との対談などにて、大学と産推研の良好な関係構築について再確認できた。

2. 同窓会（大和）

- ・卒業生交流ラウンジに短距離で大画面が映し出せるプロジェクタが使用できるので、活用してほしい。
- ・急性期診療棟の建設のため、通称マムシ山が更地となった。

3. 第 33 回全国大会（西）

- ・関東地方会主幹の予定であったが、実行委員会の組織作りが間に合わず、理事会が実行委員会となり、オンライン開催することとした。
- ・実行委員長は会長（渉外）、企画は研修・教育、学術の理事を中心に担当、理事メンバー、評議員から実行委員を選出する。
- ・開催は 11 月 27 日（土）、場所は日本橋ライフサイエンスビルディング（産業医大東京事務所契約）+Zoom 配信とする。
- ・テーマは、新しい社会と産業保健の融合～Society5.0 を見据えて～（仮）、3 月 8 日に企画会議を開催した。
- ・今後の全国大会全般について、マニュアル作りや、理事会だけでなく評議員を含めて議論を行うことや、まず評議員で議論し、理事会へ提案してもらうことなどを検討する。

4. 会計（守田、本田）

- ・年会費の二重決済について、外注業者にも精査してもらい、解決した。このための外注業者への追加支出について、理事会にて承認された。今後、年会費の支払い方法について、より使いやすいシステムへの変更を検討する。
- ・外注業者から、半期毎に、対応内容と件数が記載された報告書の提出を検討してもらう。

5. 地方会

1) 関東（坂本）

- ・評議員中心に秋までの例会のテーマについて、意見をもらっている。
- ・今後の全国大会について、16-21 期に対し、意見を募っている。

2) 九州（浅海）

- ・2021年2月20日、研究会（アルコール関連障害）を開催、参加者57名。
- ・2020年10月10日、第32回全国大会（「D'où venons nous ? Que sommes nous ? Où allons nous ?」(我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか))を第38回産業医科大学学会と共同開催、参加者291名。
- ・2021年10月9日、研究会を第39回産業医科大学学会と共同開催予定。

3) 近畿（深井）

- ・2021年2月27日、研究会（新型コロナウイルス）を開催、参加者62名。

4) 東海（西）

- ・2020年10月18日、第5回東海ほけんの会を開催、参加者19名。
- ・2021年3月7日、研究会（新型コロナウイルス）を開催、参加者68名。
- ・2021年4月頃、第6回東海ほけんの会を開催予定。
- ・2021年7-8月頃、研究会を開催予定。
- ・2021年9月頃、第6回東海産業保健研究会を開催予定。

6. 部会

1) 総務（佐藤、中谷）

- ・会員821名、過去半年間で34名増えている。
- ・事務局の外部委託は比較的スムーズに進んでおり、従来の理事業務の負担が軽減している。

2) 学術（江口、久保）

- ・大学と共同で行うことを検討する。
- ・倫理委員会の手続きは大学の調査を参考にする。
- ・コロナ流行下における労働者の健康、生活に関する調査について、予想以上の反響を得た。

3) 研修・教育（増田、樋上、楠本）

- ・2021年1月29日、新型コロナ実務対応緊急セミナーを開催、参加者100名。参加予定者への事前の案内未達や、開始時刻を過ぎてからの入室許可への対応方法等について、今後検討する。
- ・受講者へのアンケートをもとに、今後の研修内容を検討する。頻度は年1回を予定する。
- ・オンライン開催が増えたこととともない、今後、地方会同士で情報共有したり、合同企画とする、理事会がどう関わるかなどを検討する。

4) 広報（山瀧、山下、山本）

- ・産推研HPに産業保健活動支援情報のページを開設している。

<http://www.sansuiken.org/support/support.html>

- ・メンバーシステムにおいて、メンバー限定でファイルを共用、ダウンロードできる。
- ・メーリングリストは会員のうち、40人弱が登録していない。
- ・四半期ごとにメルマガを配信することを議論している。活動をお知らせするほか、通常のメーリングリストの投稿に数居が高い人が、ニュースを通して代理投稿できる仕組みなども考えられる。
- ・メーリングリストに入っていない人を含めての重要連絡には一斉メールを用いた方が良いかもしれない。一斉メールはメンバーシステムから可能と思われるが、外注する場合、費用が発生すると思われるので、実施方法を検討する。
- ・2021年2月、産業保健に関心のある産業保健学部学生へPRを行った。

7. 樺風会（樋上）

- ・8月に総会・懇親会をオンライン開催予定。

8. その他（西）

1) 評議員制度導入

- ・産推研の運営に関して、意見を問うことを目的として全会員より評議員を選出した。
- ・100名を選出（理事も評議員に含む）、任期は2023年（35期）総会まで。
- ・第1回評議員会を4月下旬から5月上旬に開催予定（年1回）。
- ・各地方会においても、評議員を交えた地方会運営についての意見交換を適宜開催していただきたい。

2) IT分科会の発足

- ・産推研のIT分野担当として、IT分科会を新設した。
- ・黒崎靖嘉先生（医19回生）、清水少一先生（医20回生）、鈴木昌絵さん（産保1期生 HP担当）を分科会委員とする。会長は西が兼任。
- ・2021年の理事選挙で正式な分科会長（理事）を選出予定。
- ・2021年1月16日に第1回会議を行い、今後は月次の三役会議に参加いただくことで、問題点を都度確認することとした。
- ・産推研においてZoom契約を行った。
- ・MLの運用については広報と連携。800名を超えるMLはほかに運用実績が少ないようで、添付ファイルについてはセキュリティの観点など慎重運用が求められることやメンバーシステムの活用（ファイル閲覧）などの議題が上がる。

3) 会議日程

- ・理事会や評議員会などの日程を年度で決めておくこととし、それ以外は臨時招集とする。
- ・1, 5, 9月の開催と提案していた。
- ・32期理事会は1月分を今回として、5月30日（日）10:00-12:30、9月29日（水）20:00-22:00。評議員会は5月1日（土）17:00-19:00をZoomにて開催予定。

以上